

平成30年度 横浜都市発展記念館 企画展

奥村泰宏・常盤とよ子 写真展

## 戦後横浜に生きる



赤線地帯を撮影する常盤とよ子氏 奥村泰宏氏撮影 昭和32年(1957)

横浜に生まれ育った、奥村泰宏(たいこう)氏と常盤とよ子氏夫妻は、昭和20年(1945)8月、敗戦後、都心部を中心に各所を占領軍に接収され、数万の兵士が駐留する基地の街となった横浜市内を数多く撮影しました。

戦後の横浜を生きる人々の諸相を克明に記録した写真は、芸術的価値のみならず、資料的価値が極めて高いものであるといえます。

本年、常盤氏の姪にあたる栗林阿裕子氏を通じ、奥村・常盤両氏が撮影した膨大な数に及ぶ紙焼写真・ネガやカメラなどの資料が当館に寄贈されました。本企画展ではこれを記念し、奥村・常盤両氏の写真とともに関連する歴史資料も展示し、戦後横浜の様々なテーマについて紹介をいたします。

**奥村泰宏(1914-1995)**：奥村氏は大正3年(1914)に燃料商の老舗、奥村商会(西区)の家に生まれ、戦後、横浜市戦災者同盟の活動に参加して社会事業に従事したのち、占領期の横浜市内の撮影を本格的に開始し、占領軍が闊歩する街並みのほか「浮浪児」や「混血孤児」、「風太郎」など、戦後横浜の実相に迫る写真を多数撮影しました。

**常盤とよ子(1928-)**：昭和3年(1928)に神奈川区の酒問屋の家に生まれ、戦後、奥村氏と出会って写真家の道を志し、昭和31年(1956)に「働く女性」展を開催して好評を博したほか、翌年には横浜の赤線地帯で働く女性達の姿をカメラに納めた写真エッセイ集『危険な毒花(あだばな)』がベストセラーとなり、戦後の女性写真家を代表する一人として注目を集めました。

## 1. 【見どころ】 展示総数約 100 点(奥村・常盤写真の展示点数)

◆横浜の接収の様子、占領軍の横顔、市民生活など、奥村泰宏氏が撮影した戦後横浜の姿を現在に伝えます！



タクシーに乗る GI 昭和 25 年



帰還兵と GI 昭和 25 年



ベビーブーム 昭和 25 年

◆常盤とよ子氏は、社会で活躍する女性達を写した作品を継続して発表し、戦後を代表する女性写真家としての地位を確固たるものにしました。それら「働く女性シリーズ」と、他に類を見ない戦後写真史を代表する作品群の一つ、横浜の「赤線地帯」の記録を展示します。



流行歌の合唱 昭和 29 年



真金町妓楼の仕度 昭和 31 年



夜の蝶へ 昭和 31 年

※赤線とは、GHQ による公娼廃止指令（昭和 21 年）から、売春防止法の完全施行（昭和 33 年）までの間に、半公認で売春が行われた地域を指す言葉。横浜市内では戦前に遊郭が存在した南区の真金町・永楽町周辺に赤線が存在していた。

◆奥村氏が創立者の一人となった戦争孤児の保護施設、ボーイズホームや「混血孤児」を保護した聖母愛児園の子どもたちの写真のほか、常盤氏のまなざしがそそがれた、戦後の婦人保護事業についても紹介します。



ボーイズホーム 昭和 25 年



聖母愛児園の子どもたち 昭和 28 年



婦人更生施設 昭和 32 年

## 2 . 開催期間等

- 【開催期間】 平成 30 年 10 月 6 日（土）～平成 30 年 12 月 24 日（月）  
【主催】 横浜都市発展記念館  
【共催】 横浜市教育委員会  
【後援】 朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／毎日新聞横浜支局／読売新聞横浜支局／TVK  
【会場】 横浜都市発展記念館 3 階企画展示室  
【開館時間】 午前 9 時 30 分～午後 5 時（券売は閉館の 30 分前まで）  
※11/3（土）、12/22（土）は午後 7 時まで開館いたします。  
【休館日】 毎週月曜日、年末年始（月曜日が祝休日の場合は翌日）  
【観覧料】 一般 300 円、小・中学生 150 円

## 3 . 展示構成

序 章 寄贈資料の概要

第 1 章 奥村泰宏氏が写した戦後の横浜

- 1-1.戦後横浜の接收状況 1-2.占領軍の横顔 1-3.戦後横浜市民の記録  
1-4.港に集う人々 1-5.奥村泰宏氏の軌跡 コラム.奥村商会の歴史

第 2 章 常盤とよ子氏が写した戦後の横浜

- 2-1.働く女性シリーズ 2-2.赤線地帯 2-3.お六さんとチャブ屋の歴史  
2-4.常盤とよ子氏の軌跡 2-5.常盤氏インタビュー映像 コラム.沖縄の微苦笑

第 3 章 戦後社会事業へのまなざし

- 3-1.婦人保護事業の記録 3-2.奥村泰宏氏と日本厚生団の活動  
3-3.聖母愛児園の子どもたち

## 4 . 関連イベント

### ■ 展示解説

展示担当者が見どころを解説します。参加費無料（観覧券が必要です）。

- 【日時】（1）11 月 3 日（土） 午後 5 時～ （2）11 月 18 日（日） 午後 2 時～  
（3）12 月 2 日（日） 午後 2 時～ （4）12 月 16 日（日） 午後 2 時～  
（5）12 月 22 日（土） 午後 5 時～ （6）12 月 24 日（月） 午後 2 時～

### ■ 企画展関連展示「聖母愛児園分園『ファチマの聖母少年の町』の記録」

【会場】 横浜都市発展記念館 1F ギャラリー

【期間】 10 月 6 日（土）～12 月 24 日（月）

### ■ ワークショップ「昔の遊びを体験しよう！」「牛乳パックでカラフルなコマを作ろう！」の開催

お問い合わせ先		
横浜都市発展記念館	西村健（展示）、神谷量子（広報）	Tel 045-663-2424